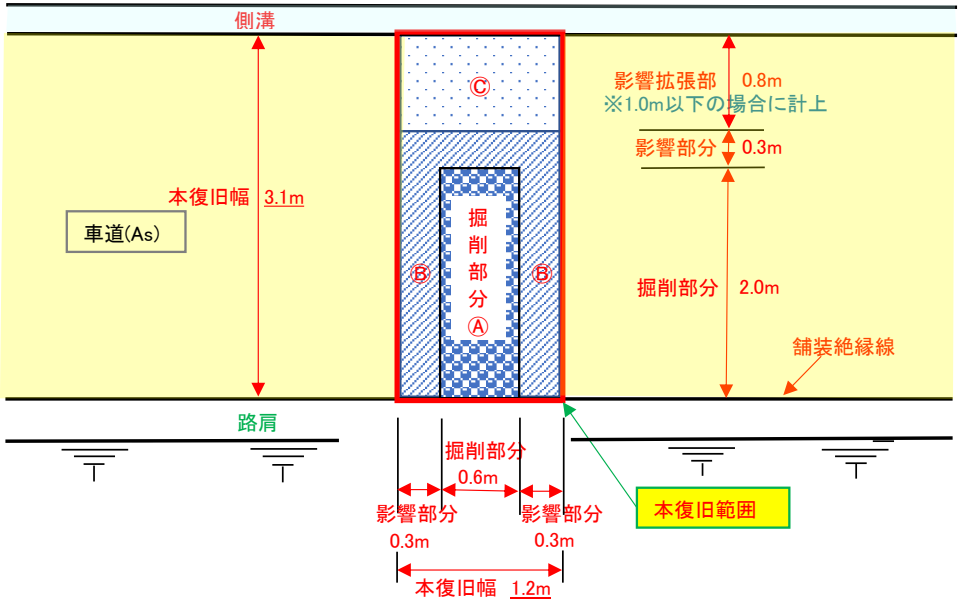
【舗装本復旧範囲の事例】

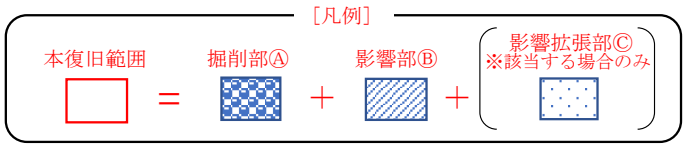
（１）平面図

※車線区分のない町道の場合



※本復旧範囲の説明

①復旧面積は、「掘削部分Ⓐ 」の面積に「影響部分Ⓑ」を加えた面積とする。

②「影響部分Ⓑ」は「掘削部分Ⓐ」の端から３０㎝の範囲とする。

③「影響部分Ⓑ」の端から、路側又は舗装絶縁線までの距離が1.0m以下の場合はその全部を「影響拡張部Ⓒ」として、復旧範囲とする。